



特集

公共施設の

今後のあり方を

検討します



☎ 経営企画課
0848・67・6009

私たちの周りにはたくさんの方の公共施設があるよね？

— 学校や公民館、市営住宅、図書館など、たくさんあるね。

これらのたくさんの方の施設は、これからもずっと使っているのかな？

— 当然の間は大丈夫だと思うよ。

でもいつかは建て替えるが必要で、たくさんお金がいるよね？今のまま維持できるのかな？

— そうだね。お金もかかりそうだし、人口減少や少子高齢化が進んでいるから、今のままとはいかないよね。

私たちは「公共施設はあって当たり前」今までも何とかやってきたのだからこれからは大丈夫と思いついていたのかな？

— そうだね。今までの「当然」は、これからは「当然」ではない時代になってきているんだね。

— そうだね。今までの「当然」は、これからは「当然」ではない時代になってきているんだね。

— そうだね。今までの「当然」は、これからは「当然」ではない時代になってきているんだね。

市では、将来を見通した公共施設のあり方^{※1}の検討を平成26年度から始めました。今年度は公共施設等総合管理計画として基本方針を取りまとめる予定です。それぞれの公共施設のあり方は、この方針に基づき、来年度以降、具体的な検討を進めていきます。

公共施設の維持・更新が問題化

全国の自治体でも

危機が迫っています

全国の自治体でも、人口増加に伴う都市化の進展や経済成長に合わせるべく、多くの公共施設が集中的に整備されてきました。近い将来、これらの施設を一齐に更新する時期が来ます。

一方で、人口減少などに伴う厳しい財政状況により、このままでは必要性の高い施設までも良好な状態で維持できなくなるおそれがあります。

これが、「公共施設の更新問題」です。市町村合併した自治体の多くで、文化・体育などの大規模施設の機能重複が見られ、施設の統廃合が検討されています。

公共施設の役割

市民生活を支える

これまで、市民のさまざまなニーズ

に対応するため、小・中学校や集会所、市営住宅など、多くの公共施設を整備してきました。これらの公共施設は、学習・交流・生活・手続きなどをする場として活用され、市民の暮らしを支える大切な役割を担っています。

三原市の公共施設の現状と課題

施設量が過剰

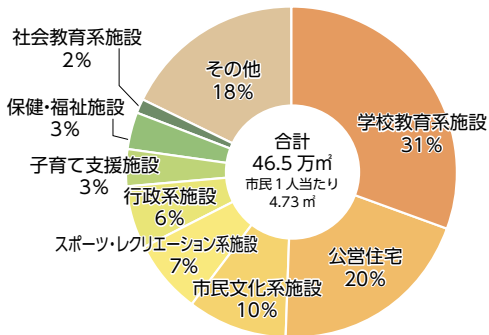
全国平均を上回る

(図1)

市が保有する公共施設は、市庁舎や小・中学校などの大きなものから、集会所や消防屯所などの小規模なものまで約500施設あります。

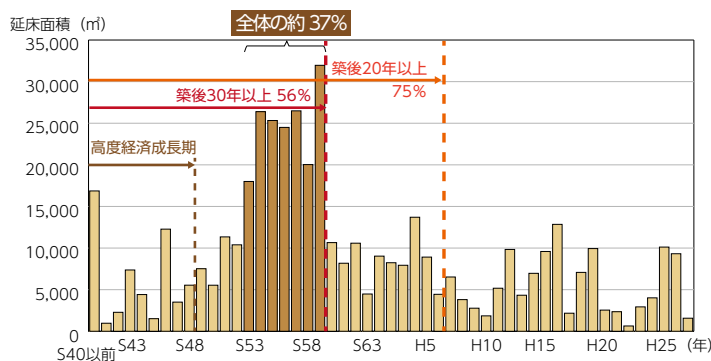
総延床面積はマツダスタジアムの約20個分に相当する約46・5万㎡にもな

図1 市の公共施設の延床面積の種類別割合



※廃校になった小学校や保育所は「その他」に含まれます。

図2 市の公共施設の建築年別整備状況



り、市民1人当たり換算で4・73㎡と、平成21年度の全国平均(3・42㎡)^{※2}を約4割上回っています。

建物の老朽化と建築時期の集中

更新時期の集中

(図2)

市は高度経済成長期以降、多くの公共施設を整備してきました。現存する公共施設の約37%、17万㎡が、昭和53～59年に竣工しました。全施設のうち、築後30年以上経過したものが56%、20年以上経過したものは75%あり、多くの公共施設が間もなく更新の時期を迎えます。

維持・更新に必要な費用

これまでよりも

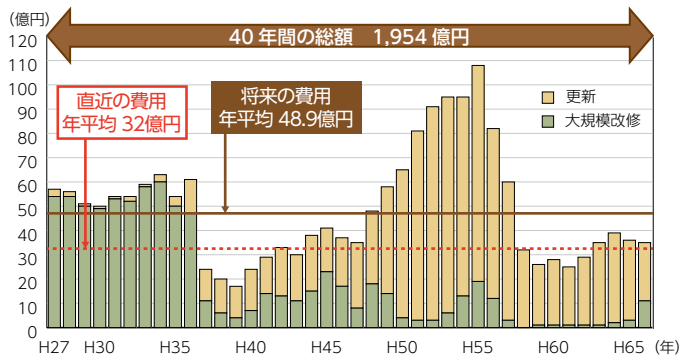
多くの費用が必要

(図3)

将来、新たな公共施設を建てなかったとして、今ある公共施設を築後30年で大規模改修、60年で更新するとした場合、今後40年間で総額約1,954億円、年平均で約48億9千万円かかる見込みです。

直近5年間で、公共施設を整備・改修した費用の年平均は約32億円で、その差は大きく、今後、この費用を負担するのは難しくなっています。

図3 市の公共施設にかかる将来必要な大規模改修・更新費用



公共施設の利用状況

利用の少ない公共施設では、廃止も含めた検討が必要

公共施設には、多く利用されているものもあれば、あまり使われていないものもあります。公共施設のあり方については、利用状況も踏まえ、これまでどおり費用を投じて維持・更新するのか、他の施設と統合し、複合施設にするなどして維持費を抑え、節約したお金を他のサービスに回すのか、廃止するのかなど、最適な方法を考えていかなければなりません。

公共施設の維持管理

長寿命化や省エネ対策が必要

公共施設は、できるだけ長く使い続けられるものでなくてはなりません。また、その維持管理には、水道や電気、



ガスなどの光熱水費が必要です。

大規模改修・更新が決まった公共施設では、長寿命化※3の実施や省エネルギー設備の導入などで、将来の経費を抑えることが求められます。

また、誰もが安心して使いやすい公共施設にするため、耐震化やバリアフリー化なども必要です。

※3 長寿命化とは、耐久性のある材料を使用したり、定期的に診断し、不具合を早期に改修したりして、長期にわたって良好な状態で使用すること。

これからの三原市は？

人口減少・少子高齢化

生産年齢人口の減少

市税収入が減少、

市民ニーズが変化 (図4)

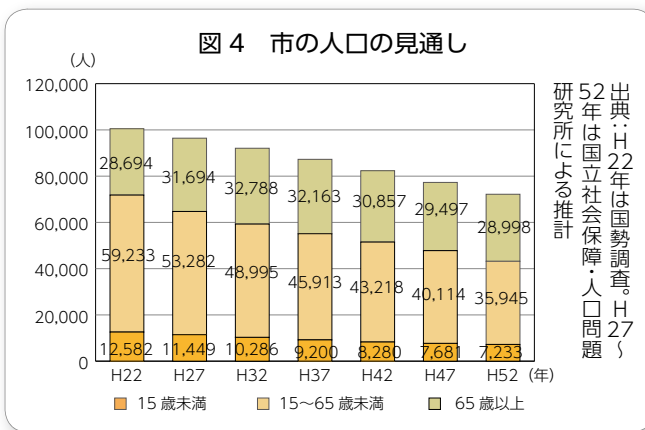
市の人口は、減少傾向にあり、年代別に見ると、高齢者人口(65歳以上)が増加していますが、平成32年を境に減少に転じ、年少人口(15歳未満)と生産年齢人口(15～65歳未満)は、大きく減少していきます。

労働力の中心となる世代の生産年齢人口が減少すると、経済の規模が縮小し、市税収入も減少することが予想されます。

また、人口減少や超高齢社会※4が進むと、施設建設時に比べ、施設に対する市民ニーズも変わってきます。市民

ニーズに合った公共施設のあり方を考えなければいけない時期に差し掛かっています。

※4 超高齢社会とは、65歳以上の高齢者の占める割合が全人口の21%を超えた社会のこと。

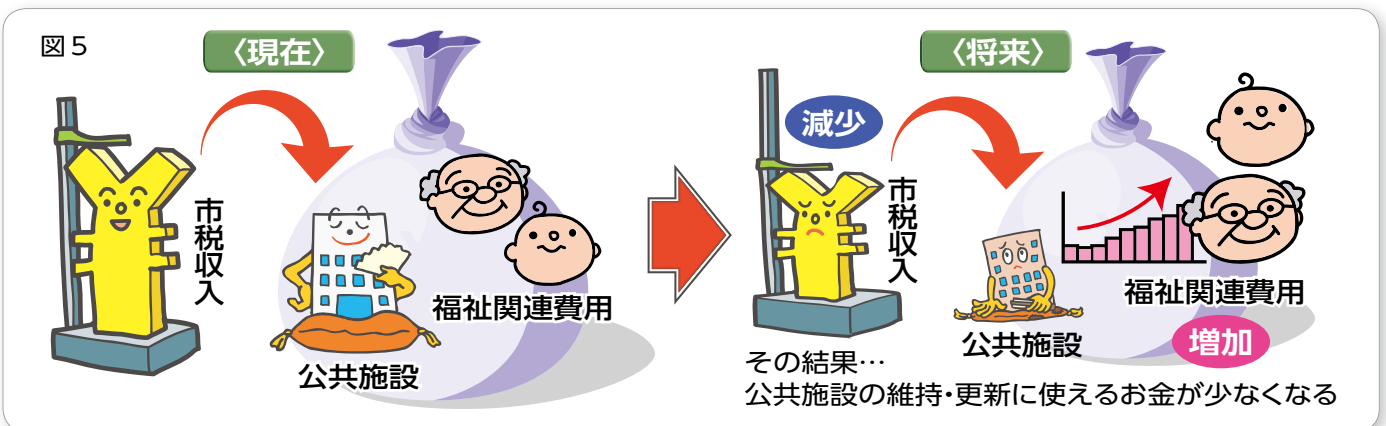


財政状況が厳しく

維持・更新にかけるお金が不足 (図5)

市の財政は、市税収入の減少や福祉関連費用の増加などにより、将来、さらに厳しくなることが見込まれます。

これにより、公共施設の維持・更新に使えるお金が減り、全ての公共施設を建て替えたり、改修したりすることが難しくなってきます。



公共施設等 総合管理計画の策定

公共施設の あり方を考える

これらの課題解決を先送りすることは、将来の世代に負担を残すこととなります。そうならないために、市では将来を見通した公共施設のあり方について検討を進めています。

今年度末には公共施設等総合管理計画として、総量(延床面積)の削減や長寿命化などを盛り込んだ基本方針を取りまとめ、来年度から施設の種別別に実施計画を策定し、基本方針の実現に向けて取り組む予定です。

◆基本方針の具体例◆

他都市の基本方針には次のようなものがあります。

- ・人口減少や年齢構成の変化などに合わせて、施設の量や役割を見直す
- ・行政だけでなく、市民や民間企業の力も借りて、施設を管理・運営する
- ・分散している施設を統合したり、使い勝手を改善したりして、生活に便利な施設にする
- ・施設をできる限り長持ちさせ、建て替え時期を集中させないようにする

市は、これまでの調査結果をもとに、市に合った総合管理計画を検討していきます。

あなたの **声** を聞かせてください

市の将来を左右する大切な問題を一緒に考えてください ～市民アンケートのお願い～

今回、公共施設の現状や将来の費用予測などをお知らせしました。これからは、公共施設等総合管理計画を策定し、効率的・効果的な管理・運営を進めていくことが重要です。

しかし、単に効率だけを優先させるわけにはいきません。社会情勢の変化や地域の特性、ニーズについても十分に把握し、必要な公共施設は残していく予定です。

公共施設を計画的に管理していくためには、市民の皆さんの理解と協力が不可欠です。公共施設のあり方に対する皆さんの意識や意見を把握し、今後の取り組みを進める上での参考とするため、あなたの「声」を聞かせてください。

次ページに掲載されている質問の回答を綴じ込みはがきに記入し、切り取って郵送(切手不要)してください。

締め切りは、7月21日(火)(消印有効)です。

皆様のご意見をお待ちしています。

切り取り線

郵便はがき

7 2 3 8 7 9 0
1 3 2

三原市港町三丁目5番1号
三原市役所経営企画課

料金受取人払郵便

三原郵便局
承認

32

差出有効期間
平成27年12月
31日まで

(切手を貼らずに
出してください)

「公共施設のあり方検討」 係 行





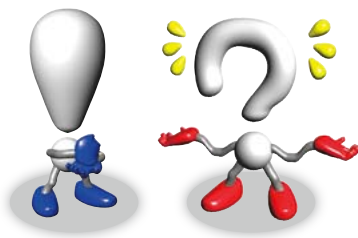
問7 今後の限られた財源(市税収入)の中で、公共施設を持ち続けるための取り組みをどう進めるべきだと考えますか？

〈当てはまるものを全て選ぶ〉

- ①複数の施設を1つに集約し、更新・維持管理費用を抑える
- ②施設を補強して長持ちするようにし、建て替えの時期を遅らせる
- ③施設の建て替えや管理・運営に民間の知恵や技術、お金などを活用する
- ④利用の少ない施設・土地の全部または一部を売却・賃貸して収入を得る
- ⑤他の公共サービスを削減し、支出を減らす
- ⑥特別な税金を徴収するなど、市民全体で負担する
- ⑦利用料を徴収している施設の料金を引き上げる
- ⑧近隣自治体と共同で施設を建設・運営する
- ⑨地域に密着した施設の管理・運営を地域住民に任せる
- ⑩市の中心部や地域拠点に施設を集約し、施設数を減らす
- ⑪施設のサービス水準を引き下げ、支出を減らす
- ⑫その他()

問8 今後、人口減少や少子高齢化、財源(市税収入)の減少が予想されますが、公共施設の量について、あなたの考えに近いものはどれですか？

- ①積極的に減らすべき
- ②人口、市税収入、市民ニーズなどに見合った数(量)まで減らすべき
- ③必要なため、現状を維持すべき
- ④不足しているので、増やすべき



問9 今後、公共施設を減らすとしたら、どのような施設を減らすべきだと思いますか？

〈当てはまるものを全て選ぶ〉

- ①特定の個人・団体に利用が固定化している
- ②利用者が少ない
- ③建物・設備が古くなっている
- ④維持管理・運営費用がかかり過ぎている
- ⑤交通の便が悪い場所に立地している
- ⑥近隣に同じような目的の公共施設がある
- ⑦近隣に同じような目的の民間施設がある
- ⑧分からない

ご協力、ありがとうございました。

----- 切り取り線 -----

公共施設市民アンケート回答用紙

問1		問2	
問3		問4	
問5		利用頻度	利用が少ない理由
	A		
	B		
	C		
	D		
	E		
	F		
	G		
H			
問6		問7	
問7⑫「その他」の内容			
問8		問9	

切り取り線



公共施設

市民アンケート

問1 あなたの性別は？

- ① 男
- ② 女

問2 あなたの年齢は？

- ①10歳代
- ②20歳代
- ③30歳代
- ④40歳代
- ⑤50歳代
- ⑥60歳代
- ⑦70歳以上

問3 あなたが住んでいる地域(中学校区)はどこですか？

- ①第一中学校区
- ②第二中学校区
- ③第三中学校区
- ④第四中学校区
- ⑤第五中学校区
- ⑥幸崎中学校区
- ⑦宮浦中学校区
- ⑧本郷中学校区
- ⑨久井中学校区
- ⑩大和中学校区
- ⑪市外(在勤者など)

問4 あなたは三原市に住んで、通算何年になりますか？

- ①0年(在勤者など)
- ②1～4年
- ③5～9年
- ④10～19年
- ⑤20年～29年
- ⑥30～39年
- ⑦40年以上

問5 あなたは市の公共施設をどれくらい利用していますか？利用が少ない場合は、その理由は何ですか？

施設区分	施設の具体例	利用頻度 (施設区分ごとに1つ選ぶ)	利用頻度の 選択肢	利用が少ない理由 (当てはまるものを全て選ぶ)	利用が少ない理由の 選択肢
A 集会施設	コミュニティセンター、公民館、集会所、青年の家、人権センターなど				
B 文化施設	ポポロ、生涯学習センター、文化センター、市民ギャラリーなど		①よく利用 する (月に1回 以上)		①利用する機会がない
C 社会教育施設	図書館、歴史民俗資料館、宇根山天文台、老人大学など		②たまに利 用する (年に数回 程度)		②どんな施設があるのか 知らない
D スポーツ施設	運動公園、武道館、体育館・プール(学校を除く)など		③過去に利 用したこ とがある		③どんなサービスが利用 できるのか知らない
E 観光・レクリエーション施設	キャンプ場、道の駅、自然休養村など		④利用した ことがな い		④利用の方法が分からない
F 児童福祉施設	児童館・児童クラブ、子育て支援センターなど				⑤施設の場所が自宅や職 場から遠くて不便
G 高齢者福祉施設	老人福祉センター、創作センターなど				⑥施設が古い、設備が整っ ていない
H 行政施設	市役所、支所、城町庁舎など				⑦申し込みが混んでいて 利用しにくい
					⑧利用料金が高い
					⑨市の施設以外の施設を 利用している
					⑩その他

問6 市では、将来の世代にさらなる負担を残さず、公共施設を計画的に管理するため、「公共施設等総合管理計画」を策定します。あなたは、このことに賛同できますか？

- ①賛同できる
- ②ある程度賛同できる
- ③あまり賛同できない
- ④賛同できない
- ⑤どちらともいえない(分からない)

